

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-151	22-043	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b> Associations between moderate alcohol consumption, brain iron, and cognition in UK Biobank participants: Observational and mendelian randomization analyses UK バイオバンクにおける適量飲酒と脳内鉄、認知機能との関連： 観察およびメンデルランダム化分析		
<b>執筆者</b> Topiwala A, Wang C, Ebmeier KP, Burgess S, Bell S, Levey DF, et al.		
<b>掲載誌</b> PLoS Med. 2022 Jul 14;19(7):e1004039. doi: 10.1371/journal.pmed.1004039. eCollection 2022 Jul.		
キーワード	PMID	
飲酒、脳内鉄、認知機能、UK バイオバンク、メンデルランダム化	35834561	
<b>要 旨</b>  <p><b>目的：</b>脳内鉄沈着は神経変性疾患やアルコール依存症との関連が指摘されているが、適量飲酒との関連は不明である。本研究では飲酒と脳内鉄との因果関係、脳内鉄上昇が飲酒関連認知機能障害を引き起こすかを検討する。</p> <p><b>方法：</b>UK バイオバンク参加者 2 万人において、脳内鉄マーカーと飲酒との関連を、遺伝的に予測された飲酒との関係についてのメンデルランダム化を用いて検討した。脳の各部における鉄組成をMRIにて検討した。アルコール関連の脳内鉄蓄積について媒介分析を行った。</p> <p><b>結果：</b>平均 55 歳の男女において、飲酒は被殻、尾状核、黒質の鉄上昇と関連した。メンデルランダム化分析ではこれらの関連の因果は認めなかった。遺伝的に予測された飲酒は、血清鉄濃度とトランスフェリン飽和度と関連した。全身鉄レベル（肝）は飲酒と脳内鉄の関連を部分的に媒介した。</p> <p><b>結論：</b>週 7 単位以上の飲酒は高い脳内鉄と関連した。鉄蓄積は、飲酒関連認知機能低下のメカニズムである可能性がある。</p>		